

原子力委員会

長期計画について意見を聴く会での意見要旨

(社)日本消費生活アドバイザー
・コンサルタント協会(NACS)
監事 三村 光代

- 1、NACSとは
NACSは1988年に結成された経済産業省許可の社団法人
7支部で構成、会員数は約4000名
- 2、消費生活アドバイザー、消費生活コンサルタントとは
消費生活アドバイザーは「企業と消費者の掛け橋」、消費生活コンサルタン
トとは「消費者の知恵袋」
- 3、原子力発電に対する意見
反対とも賛成とも意思表示はしていない。現在、原子力がエネルギー構成
の重要な位置にあることやまだまだ増えると思われるエネルギー消費を
考えるとただ単に反対とは言いきれない。
- 4、一般消費者だけでなく、原子力発電所の設置地区に住む消費者にも情報が
少ないのが現状。
消費者団体や原子力反対運動の仲間はそれなりの情報を入手しているが、
一般の消費者は、TVや新聞しか情報入手手段がない。
- 5、風評に躍らされ易いのが末端の消費者と思われがちであるが、多くの消費
者は子供達の未来を考え、(原子力は危険をはらんでいるのだから)原子
力発電所は自分の近くには欲しくないと考えているのが一般的である。
- 6、新聞やTVの情報は、良きにつけ、悪きにつけ、一般消費者には一方的
な情報と思う。従って押しつけ情報になりかねない。
- 7、誰の提供する情報なら耳を傾けてくれるかが大切。何時も何かを隠してい
るのではないかと思われるのは何故かを考えてほしい。
- 8、原子力には発電以外の分野での有効活用のあること。このような情報を有
効に使ってほしい。
- 9、核燃料リサイクル、放射性廃棄物の処理での消費者意識。
- 10、消費地の消費者の消費者教育の方法にも工夫が必要。
- 11、なぜ原子力発電所では事故が起こるのか。事故の説明の仕方にも問題が。
- 12、原子力発電所にも企業倫理(コンプライアンス)や企業の社会的責任(C
SR)での第三者評価の導入を。
- 13、その他